

成果を出す目標の立て方・考え方

加藤 真一

STEP1 順番を間違えないこと

- ①何のために
- ②何を 誰と いつまでに

目的・ゲイン(収穫)		方法・手段・業務・リスク(代償)		
イメージカ・経験		時間・道具(ツール)・資金が必要		
経験	項目	資金	所要時間・練習項目	道具
	ハワイ旅行		パスポート取得	トランク パスポート
	ゴルフ		会員権	ゴルフクラブ ボール
	スキー・スノボ			スキー板・ウェア ブーツ・ゴーグル
	パソコン			モニター・ルータ キーボード
	スキューバ		ライセンス取得	アクアラング ウェットスーツ
	甲子園出場		うさぎ跳び・素振り	バット・グローブ ボール
	金持ち			
	成功者			

イメージを持つ



コストダウン



>の場合 現実化(人は動く)
 <の場合 非現実化(人は動かない)

「夢を叶える方法」 → ①やりたいことの金額を調べる癖を付ける
 → ②経験者から体験談を聞く
 → ③それをやってみたい人を探す

まずはイメージを持つことから

「モデルルームの見学に行く、外車の試乗をする、海外に行ってみる、成功者の体験談を聞く」

STEP2 夢リスト作成 その仕事をやる目的探し

目的＝ゴール 目標＝ペース 例) 富士山頂＝ゴール 何時までに6合目＝ペース

夢リスト作成の意味

収入を得るには明確な使い道が必要

お金とは引換券にすぎません、あなたは何に引き換えますか？

明確なビジョンを持っている方にお金が集まってきます

夢リスト＝公約でもあります

公約のない政治家に投票は集まりません

	欲しい物	行きたい(住みたい)場所	趣味(したい事)	してあげたい事
例	大型有機ELテレビ	ハワイ	サーフィン	両親に家を買う
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

STEP3 目的の明確化

あなたがその仕事をやる目的・理由（現状把握→目的）

今の現状がこうだから〇〇という手段でこういうライフスタイルを実現する

STEP4 目標を立てましょう

目指す月収目標

3ヶ月後

6ヶ月後

1年後

その為の売り上げ

STEP5 やる事とやらない事を決めましょう

●「やらないこと」

1

2

3

4

5

●「やること」

1

2

3

4

5